

11 発表業績

11. 1 著書・報告書

題 名	著 者	著書・報告書名
集団発生事例および散発性胃腸炎からのノロウイルス検出状況	飯塚節子	食品中のウイルスの制御に関する研究平成19年度総括・分担研究報告書 (厚生労働科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業) 143-150 平成20(2008)年3月
リケッチア感染症の国内実態調査および早期診断体制の確立による早期警鐘システムの構築	田原研司	平成19年度新興・再興感染症研究事業平成19年度総括・分担研究報告書 87-98 平成20(2008)3月
宍道湖・中海におけるこれまでの水質監視調査と水質保全調査研究および今後の調査研究方向	石飛裕、後藤宗彦、吉岡勝廣、神谷宏、福田俊二、狩野好弘、崎幸子、北脇悠平	保健環境科学研究所湖沼水質保全業務平成18・19年度報告書 平成20年3月
斐伊川流域における負荷量の長期的変遷の把握に係る予備的研究-実測法と原単位法による検討	石飛裕、神谷宏、三島幸司 ¹⁾ 、狩野好弘 ¹⁾ 、木村和郎 ¹⁾ 、吉岡勝廣 1)環境政策課	保健環境科学研究所一般研究平成19年度報告書 平成20年3月

11. 2 誌上発表

題 名	著 名	雑 誌 名
Similarities of Kawasaki disease and <i>Yersinia pseudotuberculosis</i> infection epidemiology.	Pascal Vincent ¹⁾ , Eeva Salo ²⁾ , Mikael Skurnik ²⁾ , Hiroshi Fukushima, and Michel Simonet ¹⁾ 1) Lille パストール研究所 2) ヘルシンキ大学	The Pediatric Infectious Disease Journal, 26:629-631, 2007
島根県における大規模黄砂現象の発生状況と特徴	多田納 力	環境技術, 36, 251-257, 2007
Spatial distribution and source identification of wet deposition at remote EANET sites in Japan	Sinya Seto ¹⁾ , Manabu Sato ²⁾ , Tsutomu Tatano, Takashi Kusakari, Hiroshi Hara ³⁾ 1) 広島県立総合技術研究所 2) 広島市立大学 3) 東京農工大学	Atmospheric Environment, 41, 9386-9396, 2007
Long-term change in water transparency before and after the loss of eelgrass beds in an estuarine lagoon, Lake Nakaumi, Japan.	Jun-ichi Hiratsuka ¹⁾ , Masumi Yamamuro ²⁾ and Yu ishitobi 1) 島根野生生物研究会 2) 産業技術総合研究所	Limnology, 8, 53-58, 2007
Estimation of long-term variation in nutrient loads from the Hii River by comparing the change in observed and calculated loads in the catchments.	Hiroshi Kamiya, Yoshihiro Kano, Koji Mishima, Katsuhiko Yoshioka, Osamu Mitamura ¹⁾ , Yu Ishitobi 1) 滋賀県立大学	Landscape and Ecological Engineering, 4, 39-46, 2008

11. 3 学会・研究会発表

公衆衛生関係（全国、中国地区）

年 月 日	題 名	発 表 者	学会名	掲載誌名
H19. 4.10～11	<i>Yersinia enterocolitica</i> O9による家族内発生例	森木省治、柴田 宏、益田順一、福島 博	第81回日本感染症学会総会	感染症学雑誌、81臨時増刊号、p.302, 2007
H19. 7. 5～ 6	中国・四国地域におけるリケッチア症（つつが虫病・日本紅斑熱）の発生状況と疫学的特徴	田原研司	衛生微生物協議会第28回研究会	講演要旨集 p.67
H19. 8.30～31	MDCK細胞を用いたヤマモモの葉の抗インフルエンザウイルス活性	持田 恭	日本防菌防黴学会第34回年次大会	講演要旨集 p.60
H19. 8.31	自治体と大学と研究機関の協働による保健活動企画研修事業とその評価	藤谷明子	第53回中国地区公衆衛生学会	講演要旨集 p.48～49
H19. 9. 7	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	平成19年度中国地区食品衛生監視員研究発表会	講演要旨集
H19. 9.26～27	SYBR green I real-time PCR法とTaqMan real-time PCR法を用いた食中毒の迅速検査システムの検討	福島 博、勝部和徳、穂葉優子、熱田純子、岸 亮子	第28回日本食品微生物学会学術総会	講演要旨集 p.25
H19.10. 6～ 7	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	平成19年度日本獣医公衆衛生学会（中国）	抄録 p.75
H19.10.18～19	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	平成19年度全国食品衛生監視員研修会	抄録 p.137～138
H19.10.20～21	島根県におけるダニ媒介性病原体の浸淫状況	田原研司	第62回日本衛生動物学会西日本支部会	抄録 p.10
H19.10.24～26	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	第66回日本公衆衛生学会	抄録集 p.331
H19.10.26～10	自治体保健師の保健事業企画・評価能力向上を目指した研修事業とその評価	藤谷明子	第66回日本公衆衛生学会	抄録集 p.381
H19.11.15～16	県・市町村・研究機関・大学の協働による「新任時期の保健師支援プログラム」の作成とその活用	藤谷明子	第29回全国地域保健師学術研究会	講演集 p.280～281
H19.11.15～16	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	第44回全国衛生技術協議会年会	講演集 p.77～78
H20. 1.24～25	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	第2回全国自然毒中毒研修会	抄録集 p.27～32
H20. 2. 9～11	細菌性食中毒検査への分子生物学的迅速検査法の導入（教育講演）	福島 博	平成19年度日本獣医公衆衛生学会	講演要旨集 p.255

公衆衛生関係（県内）

年 月 日	題 名	発 表 者	学 会 名	掲載誌名
H19. 8. 1	自治体と大学と研究機関の協働による保健活動企画研修事業とその評価	藤谷明子	第48回島根県保健福祉環境研究発表会	講演要旨集 p7
H19. 8. 1	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	第48回島根県保健福祉環境研究発表会	講演要旨集 p35～36
H19. 8. 8	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討	来待幹夫	平成19年度島根県獣医学会	要旨集 p12
H19.12. 9	自然毒中毒調査お助け隊ってなんだろう？	来待幹夫	平成19年 島根の自然・環境についての発表会	要旨集

環境衛生関係（全国、中国地区）

年 月 日	題 名	発 表 者	学 会 名	掲載誌名
H19.12. 4	島根県における環境放射能調査	生田美抄夫、山根宏、藤井幸一、江角周一、伊藤準	第48回環境放射能調査研究成果発表会	抄録集 p.231～234
H19. 9. 5～ 7	隠岐島における二酸化硫黄の乾性沈着量の推定	佐川竜也	第48回大気環境学会年会	講演要旨集, p506
H19. 9. 5～ 7	隠岐島における二酸化硫黄および粒子状物質の高濃度現象の解析	荒木卓久	第48回大気環境学会年会	講演要旨集, p511
H19. 9. 5～ 7	中国・四国地方における光化学オキシダント高濃度事例解析（1）	田中孝典	第48回大気環境学会年会	講演要旨集, p634
H19. 9.10	降水中の栄養塩濃度とその起源	神谷 宏、吉岡勝廣、石飛 裕	第72回日本陸水学会	講演要旨集, p215
H19. 9.10	斐伊川栄養塩濃度の長期トレンド	石飛 裕、神谷 宏	第72回日本陸水学会	講演要旨集, p214
H19.11. 7～ 8	環境省「はなこさん」の花粉情報に基づく花粉飛散の挙動解析	多田納力	第34回環境保全・公害防止研究発表会	講演要旨集, p38-39

環境衛生関係（県内）

年 月 日	題 名	発 表 者	学 会 名	掲載誌名
H19. 8. 1	隠岐における硫黄酸化物の乾性沈着の動態解析	佐川竜也	第48回島根県保健福祉環境研究発表会	抄録集, p33-34
H19. 8. 1	宍道湖へ流入する中海高塩分水の侵入速度と溶存酸素濃度	神谷 宏	第48回島根県保健福祉環境研究発表会	抄録集, p29-30

11. 4 研究発表会

第22回保健環境科学研究所研究発表会

開催日 平成20年1月30日
 場所 島根県民会館
 参加人員 129人

演 題	発 表 者
原子力事故に備えた環境調査地点におけるガンマー線現場測定法による平常時の測定結果	生田美抄夫（原子力環境センター）
島根県では、光化学反応のない夜でもオキシダント濃度が高くなるのはなぜ？ ー夜間のオキシダント高濃度現象に影響する気象要因の解析ー	田中 孝典（大気環境グループ）
麻しんをなくそう!! ー平成19年度の島根県の麻しんの流行と対策ー	小村 珠喜（ウイルスグループ）
子どもの“食”に影響するのは、何？ ー島根県健やか親子アンケート調査結果よりー	宮崎 直子（総務企画情報グループ）
宍道湖のカビ臭を考える ・宍道湖の水と泥からのカビ臭	福田 俊治（水環境グループ）
宍道湖のカビ臭を考える ・人の臭気による水の臭気と大気臭気の評価方法	多田納 力（大気環境グループ）
宍道湖のカビ臭を考える ・ジェオスミンの毒性について	持田 恭（食品化学スタッフ）
宍道湖のカビ臭を考える ・カビ臭と放線菌の関わり	勝部 和徳（細菌グループ）

11. 5 平成19年度集談会

回	年月日	演 題	演 者
468	H19. 4.25	ヒ素にまつわること	後藤 宗彦
469	H19. 5.25	自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討 と畜場のBSE対応の概要 東アジア地域を視野に入れた長期観測のススメ Ge In-Situ バックグラウンド測定	来待 幹夫 田中 貞光 吉岡 勝広 生田美抄夫
470	H19. 6.21	平成19年度環境ISOの推進 中国・四国地域におけるリケッチア症(つづが虫病と日本紅斑熱)+済州島の復命	橘 親男 田原 研司
471	H19. 7.19	隠岐における硫黄酸化物の乾性沈着量の推定 隠岐における二酸化硫黄および粒子状物質の高濃度現象の解析	佐川 竜也 多田納 力
472	H19. 8.23	カビ臭原因物質の細胞毒性実験報告 斐伊川流量データの検証	持田 恭 神谷 宏
473	H19. 9.27	放射性ストロンチウム分析におけるイオン交換工程について 最近報告された新型パレコウィルス 3型の島根県での分離状況	山根 宏 飯塚 節子
474	H19.10.18	感染症法の改正 第3の人食いバクテリア (エロモナス菌)	糸川 浩司 福島 博
475	H19.11.21	高齢者生活機能調査の概要 カビ臭を産生する放線菌 文献情報の収集について	藤谷 明子 勝部 和徳 石飛 裕
476	H19.12.20	宍道湖におけるジェオスミンの推移 E S B L産生大腸菌の検出方法	福田 俊治 岸 亮子
477	H20. 2.21	かび臭物質の測定方法の検討 大気中のアンモニアの動態	北脇 悠平 荒木 卓久
478	H20. 3.13	アスベストの分析について ベトナム 国際放射線防護委員会 (ICRP) 新勧告	黒崎 理恵 田原 研司 江角 周一

11. 6 保環研だより

No.124 2007年5月

1. 流行が危惧される新型インフルエンザ(H5N1亜型)
2. 多剤耐性緑膿菌について
3. 自然毒食中毒に気をつけましょう
4. 環境大気常時監視マニュアルの改訂作業に参加して
5. 有機物汚濁の指標 CODとTOC
6. モザイクは無いほうが...
(原発監視を高解像度の眼で行います)
7. 保環研の組織が変わりました

No.125 2007年9月

1. 宍道湖で発生したカビ臭について
2. 結核感染の新しい診断技術「QFT」と予防対策
3. 麻しんは重い病気です
4. 地震・台風など自然災害時における食の安全対策
5. 6月の大気汚染に影響する気象要因
6. 保環研・環境ISO 昨年の取り組み状況
7. 原子力施設等放射能調査機関連絡協議会の開催
(平成19年度総会及び第34回年会)

8. 第48回島根県保健福祉環境研究発表会において、
藤谷主幹 優秀賞受賞
9. HOKANKENはっとコーナー

No.126 2008年1月

1. 島根県新型インフルエンザ発生対応訓練
2. 高校生を対象に体験学習を開催しました
3. 宍道湖カビ臭の原因物質であるジェオスミンの毒性評価について
4. 中国の春節時期に着目しました
大気汚染物質の中国大陸からの移流について
5. 水質汚濁防止法に基づく事業場排水の監視について
6. ストロンチウム90 ～分析苦労話～
7. バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) について
8. 来待専門研究員、厚生労働省医薬食品局食品安全部長表彰
9. 学会・研究会・研修会等の発表、論文投稿等
(平成19年9月～12月)

